

2000. 6. 7 制定

2001. 3. 7 改訂

2005.12.15 改訂

2008. 9. 3 改訂

可視化情報学会論文集投稿要領

1. 可視化情報学会論文集の内容

1.1 可視化情報学会論文集に掲載される論文は、可視化情報の技術、応用計測、理論・原理、解析およびそれらに関連のあるもので、会員間の意志の疎通、知識の交換および相互の啓発に有効なものとする。

1.2 投稿論文は著者の原著であり、その主要な部分が他協会の刊行物に未投稿のものであること。

1.3 可視化情報学会論文集に掲載される論文の規定最大ページ数は8ページとする。編集委員会が特に認めたもの以外は、規定ページ数を超えてはならない。

1.4 可視化情報学会論文集に掲載される論文は、オンラインジャーナルとしてJ-Stage (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/tvsj-char/ja/>)上で公開され、毎月更新される。論文発行日はオンラインジャーナル公開日とする。オンラインジャーナルに掲載された論文は、1年分をまとめて合本CDROMとして発行される。可視化情報学会誌には論文概要のみが掲載される。

1.5 オンラインジャーナルには動画を掲載することが可能である。また、合本CDROMにも動画は収録される。別刷ならびにオンラインジャーナルに掲載される図表は原則としてカラーであるので、カラーを推奨する。

2. 論文の体裁および提出物

2.1 1ページは25字×48行×2段=2,400字で、体裁は本要領添付の「原稿見本」とおりである。合本集はCD-ROMである。

2.2 論文は和文または英文とする。本文の前に150語程度の英文抄録と3個以上の英文キーワードを入れる。

2.3 原稿は本要領添付の「原稿見本」を参照して、図表を含み、大きさ、割付とにもできるだけ原稿見本の体裁に仕上げる。

2.4 本文の書き方および図表等の作成方法は本要領別項1「本文について」および別項2「図表等の作成方法」に従う。

2.5 図表には番号(Fig.1, Table 1等)を含め英文を用いる。本文中では右図や下表という表現はせず番号で示す。写真は図とみなす。写真には撮影条件を記入することが望ましい。

2.6 必要に応じて、動画を提出することもできる。

2.7 論文の採否は査読委員の審査を基に編集委員会で決定する。

2.8 掲載が決定した論文の表題、著者、内容を変更してはならない。

2.9 掲載が決定した際には、本要領別項3の

- ・ 「B. 掲載用提出物 1(印刷物)」,
- ・ 「C. 掲載用提出物 2(本文の電子ファイル)」,
- ・ 「D. 掲載用提出物 3(図表、動画の電子ファイル)」

を提出する。

2.10 論文の掲載料を徴収する。6ページまでは10,000円/頁、それを超えた分は20,000円/頁とする。

投稿要領 別項2

図表等の作成方法

ここでは紙に印刷する図表の作成方法および編集上の取扱いについて述べる。

1. 図表の割付
 1. 図表は、提出された電子ファイルを読み込むか原図をそのままスキャン処理し、必要な寸法に縮尺して印刷版下として使用し、本文中に割付ける。
 2. 論文集は2段組であり、図表は1段(幅 80mm)または2段(幅 170mm)の寸法に割付ける。ただし、複数の図表を組み合わせて2段の寸法にすることは可能である。
2. 原図の作成

原図の作成には次のような注意が必要である。

 1. 図表等の原図は本文原稿と別個に作成し、1枚ずつ A4 用紙に出力するか貼り付ける。
 2. 鮮明であること。判読不能な文字や部分がないこと。
 3. 無用の空白が無いこと。本文の説明に必要でない部分はできるだけ削除する。
 4. 縮尺した場合に文字が適当な寸法になること。紙面の図表中で読み易い文字の最小の高さは英数字で 2mm、漢字で 2.5mm 程度である。下付き等の文字は最小でも 1.5mm 程度になるようにする。
 5. 文字を縮小すると線も細くなるから、原図にはゴシック体を用いる等の対策を施す。
 6. 量記号(X, Y, a, b 等、数量の代わりに用いる記号)は **斜体**、単位記号は**立体**とする。
 7. 単位は SI を用いる。
 8. 図表への文字等の貼込みは著者が行う。
 9. 中間調印刷を希望する図(写真を含む)にはその旨を明記する。
 10. 原図の表面右下に著者名と図番号を記入する。
 11. 図表のキャプションは英語で記し、先頭の文字のみ大文字、それ以降は小文字で表記する。最後にピリオド「。」を付ける。(a), (b) 等のサブキャプションにはピリオド「。」を付けない。
3. 割付けおよび仕上がり確認
 1. 図表等を含む全体の割付け案を原稿上に図表を貼り付けて示す。この際、必ず原図を用い、図表を論文掲載時の寸法に合わせる。さらにその仕上がりを確認しておく。特に図表の文字の大きさおよび線の太さを十分に確認する。また、図表番号と本文との対応関係を確認する。
 2. 実際の割付けは著者の希望通りにならない場合もある。

投稿要領 別項3

提出物について

論文を投稿する際には、オンラインホームページ(<http://www.vsj.or.jp/tvsj/>)から、指示に従って **A. 論文投稿時データに示すデータを入力しサブミットすること**。また、本会論文集に掲載が決定した場合には、**B. 掲載用提出物1(印刷物)を郵送**、**C. 掲載用提出物2(電子フ**

ファイル)を電子メールによって提出すること。なお、D. 掲載用提出物3(図表の電子ファイル)を郵送にて提出することが望ましい。

A. 論文投稿時データ

記号	提出物	内 容
A.1	入力データ	論文タイトル, 著者名, 所属, 連絡先, e-mail アドレス, keywords を投稿用 HP からサブミットする。
A.2	論文原稿	Pdf ファイルを投稿用 HP からサブミットする。
A.3	動画ファイル	必要に応じて動画ファイルを投稿用 HP からサブミットする。

B. 掲載用提出物1(印刷物)

記号	提出物	内 容
B.1	論文調査表(A) 3部	本学会ホームページ (http://www.vsj.or.jp)にあるファイルをダウンロードして 必要事項を記入し, 原稿の表紙として添付する。 論文調査票(A) [PDF:24kB] 論文調査票(A) [Word:63kB]
B.2	論文調査表(B) 3部	掲載可の通知とともに送付される論文調査表(B)に 必要事項を記入する。

C. 掲載用提出物2(電子ファイル)

次の要領で電子ファイルを作成し, 電子メールで送付する。

記号	提出物	内 容
C.1	論文原稿	原稿本体 (pdf ファイル)。
C.2	論文原稿	原稿本体 (word ファイル)。
C.3	英文抄録	J-Stage 用の英文抄録(150 語程度), キーワード(3語以上)を A4 用紙1頁に出力した word ファイル。論文題目, 著者名, 所属, 論文要旨の順で記述する。
C.4	和文要旨	J-Stage 用の和文要旨を A4 用紙1頁に出力した word ファイル。論文題目, 著者名, 所属, 論文要旨の順で記述する。

D. 掲載用提出物3(図表、動画の電子ファイル)

図表などの電子データを作成済みの場合には, 上記の電子ファイルとともに, 図表の電子ファイルを CR-R(W), MO ディスクなどに収録し提出することが望ましい。データ形式は, *.ai, *.bmp, *.eps, *.gif, *.jpg, *.psd, *.tif の中から選ぶことができる。ただし, これらのデータ形式においても対応できないものもある。なお, 印刷所における電子データの入出力環境からなるべく圧縮率の低い(解像度の高い) JPEG ファイル (*.jpg)を推奨する。図表データのファイル名には, 著者(代表者)名の後に図表番号を加えたものとする。例えば, suzukiFig1.jpg, suzukiTable1.tif などとする。なお, 動画の場合は, 原則として投稿時のものを用いるが, ファイルサイズ等の関係で, 圧縮などの修正を依頼する場合がある。